

二七二七番

酢蛾島の夏身の浦に 寄する波 間も置き
我が思はなくに

二七二八番

近江の海 沖つ島山 奥まへて 我が思ふ妹が
言の繁けく

二七二九番

霰降り 遠つ大浦に 寄する波 よしも寄すとも
憎くあらなくに

二七三〇番

紀伊の海の 名高の浦に 寄する波 音高きかも
逢はぬ児故に